

### 第3回「生物多様性国家戦略小委員会」での発表意見の概要

平成18年11月20日

(財)日本生態系協会 関健志、青木進

#### ① 自然の保全・再生に向けた国土のグランドデザインの策定（エコロジカル・ネットワークの形成）

- ・平成8年に閣議決定された国土利用計画法に基づく「国土利用計画 全国計画（第3次）」及びそれを基本として策定される各都道府県計画は、生物多様性保全の観点から、おおむね一定の肯定的評価を与えることができる。しかし、土地利用基本計画等を介しての土地利用の実際の場面においては、ほとんど生かされていないのが現状である。
- ・ドイツ、シェレースヴィヒ＝ホルシュタイン州では、エコロジカル・ネットワークの考えを基に、州レベル、地域レベルで生物多様性保全に向けた計画図を策定し、その内容を、州レベル、地域レベルの国土計画に反映させ。各種土地利用等に際しての当該保全重要地域への保全配慮をシステム化している。
- ・アメリカ、フロリダ州では、ランドサットのデータ等を利用して生物多様性保全に向けた計画図を作成し、こうした地図等を参考に、生物多様性保全上重要なまだ保護区になっていない土地を、順次取得している。
- ・わが国においても、重要湿地をはじめ日本の生物多様性を保全するうえで厳正に保護すべき地域等を図面表示した「自然の保全・再生に向けた国土のグランドデザイン」（地図）を、関係者の理解を求めて、行政実務に実際に使えるスケールで全国整備する必要がある。同地図は、森林計画など国土利用に関する各種計画の策定や、道路など各種施設の計画等の際に、ミティゲーション（回避・低減・代替措置）を効果的に導入するうえでの、また自然の保全・再生に向けた各種施策の大本の指針となるものである。
- ・「自然の保全・再生に向けた国土のグランドデザイン」（地図）をいつまでに全国整備すべきかについては、新しい国土計画体系に基づく全国計画等の策定が、生物多様性保全をベースとしたものとなるよう、具体的な議論が始まる前までに、作業を終えておく必要がある。

#### ② 環境NGOを含めた点検システムの構築

- ・毎年、点検結果及びその元となる点検調査が公表され、そして国民意見の募集中が行われている。しかし、今の御用の様式、基本的に行政内部にとどまる点検の様子をこれまで見る限り、「点検」が、国家戦略に基づく政府の各種施策を前に進める契機となっているかどうか、疑問である。

・国家戦略の点検は、「選択・共生・参加・国際的取組」の4つを長期目標とする環境基本計画の点検以上に、「共生」について、かなり具体的に各施策の実施状況を検討したものになっている必要がある。

- ・そのため先ず、各施策において、生物多様性保全を正面から取り組めない場合にはどうしてか、環境省や環境NGOのどういう支援を期待するか、などについて記入できる点検表を作成する必要がある。
- ・次に、海岸から奥山まで様々なフィールドで活動し、新規施策を含め関係省庁の施策について通じている様々な環境NGOが、関係省庁が記入した上記点検表を検討し、施策の課題点等を明らかにする。
- ・最後に、環境NGOから集められた情報を取りやすく整理し、その資料をも用いながら、行政、生物多様性の保全に関連する様々な分野の専門家、環境NGO等からなる第3者機関において、建設的な意見交換を行う。
- ・環境NGOを点検システムに含めることで、「点検」において、国家戦略に基づく各種施策の実施状況を、よりきめ細かくチェックすることができる。

- ① 自然の保全・再生に向けた国土全体のグランドデザインの策定（エコロジカル・ネットワークの形成）
- ② 理構NGOを含めた点検システムの構築

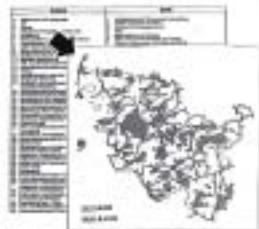
平成19年11月28日  
(3)日本生態系協会 関根浩、齊木道

### シレースヴィヒ＝ホルシュタイン州における 国土計画とエコロジカル・ネットワーク計画との関係

総合計画編成 自然保護計画との連携		農地計画制度 農・林地マネジメントの実現	森林計画制度 森林地帯マネジメントの実現	
第一レベル				
州総合計画 面積128,000km <sup>2</sup>	□	農地計画制度 面積70,000km <sup>2</sup>	□	森林計画制度 森林地帯マネジメントの実現 面積12,000km <sup>2</sup>
第二レベル				
II 農地計画 面積10,000km <sup>2</sup>	□	II 農地計画制度 面積1,000km <sup>2</sup>	□	II 森林地帯マネジメントの実現 面積1,000km <sup>2</sup>
第三レベル				
II 農地計画 面積1,000km <sup>2</sup>	□	II 農地計画制度 面積100km <sup>2</sup>	□	II 森林地帯マネジメントの実現 面積100km <sup>2</sup>

3

生物多様性保全のために  
地レベルで重要な地域

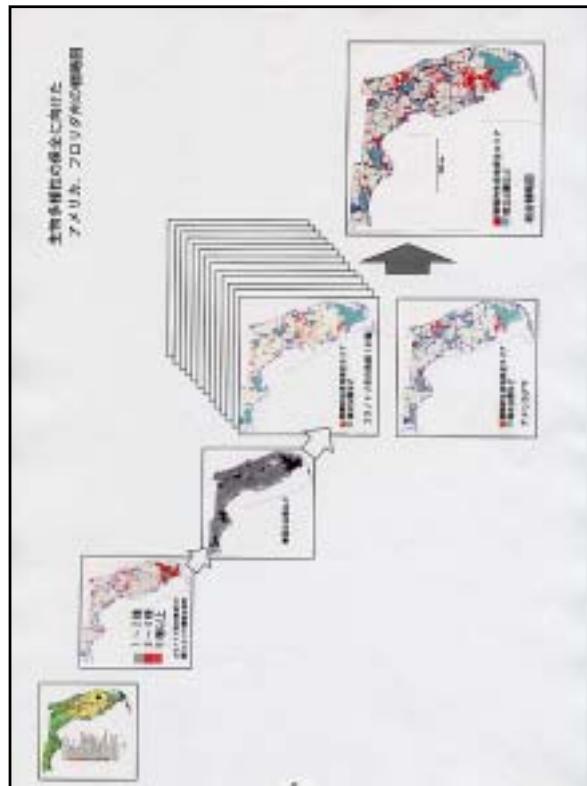
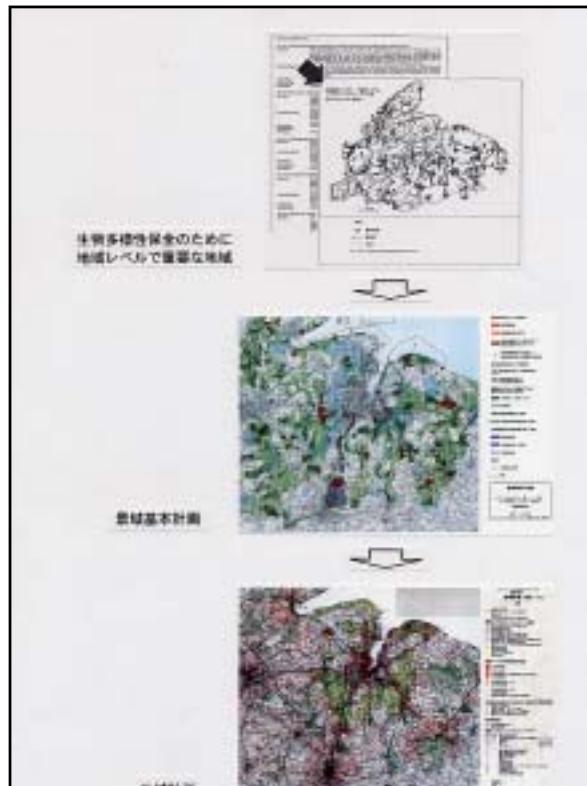


環境プログラム



州国土整備計画







フロリダ州、  
キシミー川の自然再生



# 志木市自然再生条例

## 志木市自然再生条例

人は、自然とのふれあいを通じて心の豊かさや安らぎを感じ、多くの生き物とのふれあいや自然の中での活動によって思いやりや体力を育んでいく。

長い年月をかけて志木の風土に育まれた身近な自然をこの数十年の間に失ってしまった私たちには、残された自然を守ること、さらには失われた自然を再生して将来世代に身近な自然を残していく責務を有している。

### (基本理念)

第2条 自然の保全及び再生は、現在及び将来の市民が自然からの恩恵を持続的に得るために自然の量的かつ質的な蓄積を高め、自然と共生した心豊かなまちを創造していくことを基本理念として定めるものとする。

### (定義)

第3条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

(2) 自然の保全 既存の自然の量的又は質的な蓄積を守ることをいう。

(3) 自然の再生 失われた自然を復元し、又は創出することをいう。

### (市の責務)

第4条 市は、公共事業の実施に当たっては、第2条に定める基本理念(以下「基本理念」という。)に従い、自然の保全及び再生に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

### (自然保全再生計画)

第8条 市長は、自然の保全及び再生の施策を総合的かつ計画的に進めるために、志木市自然保全再生計画(以下「計画」という。)を策定するものとする。

2. 計画は、次に掲げる事項について定めるものとする。

(1) 自然の保全及び再生に関する短期、長期及び超長期の計画図及び目標

(2) 自然の保全及び再生に関する施策を総合的かつ計画的に進めるために必要な事項

### (計画との整合)

第9条 市は、すべての路線を策定し、及び実施するに当たっては、計画との整合を図らなければならぬ。

### (総合調整のための体制の整備)

第13条 市は、自然の保全及び再生に向けた施策を総合的に調整し、及び推進するために必要な体制を整備するものとする。

### (市民団体等の自然保全活動の促進)

第14条 市は、市民、事業者又はこれらの者で組織する団体が自発的に行う自然の保全及び再生に向けた活動が促進されるように、必要な措置を講ずるものとする。

### (市民の意見の反映)

第15条 市は、計画及び施策の策定に関し、市民の意見が反映することができるよう、必要な措置を講ずるものとする。

### 附 用

この条例は、平成13年10月1日から施行する。

## Pressrelease

平成12年10月11日  
重要湿地の選定(中期報告)について

概要 1. 例年のように、平成11年5月に開催されたラムサール条約第7回締約国会議における重要湿地登録候補地を公報する機関等、国内外の湿地基金の気運の高まりを受け、連携を図り、国内の湿地について、専門家の意見を踏まえて、各地の生態系としての特徴の大変な湿地や重要湿地180ヶ所を公報しました。

この重要湿地に該する情報は、我が国におけるものであり、保全地域の指定の際参考に世界における湿地保護主義者に活用するものとなります。

### 本文 1. 目的

湿地保全を深める国民の意識の高まりや約7回締約国会議(重要湿地:コスカ(川)に掛、生物多様性の保全上重要な地の邊)され新規候補地登録(平成12年12月22日)性国際的(平成7年10月31日決定)を主な年次と情報に基づく湿地保全の基盤資料における配慮を促すことなどを目的として、の。

### 本文 2. 選定の手順

①検討委員会における検討(資料1参照)

表: 諸 説 明 リスト

番号	湿地名	所在地	面積(ha)	登録年	登録理由	主な特徴
1	新井田沼(川口市、羽生市)	川口市 羽生市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
2	大庭沼(川口市)	川口市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
3	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
4	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
5	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
6	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
7	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
8	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
9	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
10	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
11	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
12	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
13	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
14	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
15	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
16	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
17	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
18	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
19	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
20	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
21	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
22	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
23	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
24	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
25	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
26	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
27	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
28	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
29	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
30	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
31	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
32	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
33	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
34	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
35	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
36	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
37	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
38	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
39	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
40	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
41	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
42	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
43	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
44	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
45	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
46	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
47	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
48	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
49	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
50	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
51	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
52	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
53	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
54	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
55	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
56	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
57	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
58	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
59	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
60	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
61	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
62	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
63	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
64	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
65	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
66	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
67	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
68	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
69	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
70	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
71	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
72	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
73	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
74	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
75	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
76	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
77	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
78	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
79	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
80	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
81	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
82	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
83	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
84	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
85	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
86	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
87	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
88	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
89	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
90	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
91	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
92	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
93	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
94	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
95	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
96	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
97	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
98	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
99	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
100	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
101	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
102	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
103	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
104	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
105	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
106	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
107	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
108	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
109	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
110	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
111	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
112	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
113	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
114	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
115	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,000	1990(11)	生物多様性	河川・湖沼
116	大庭川(川口市、戸田市)	川口市 戸田市	約1,			

# 生物多様性国家戦略 点検個票 平成12年 7月

国家戦略大

10010	第3回生物多様性調査 P-1	34080	第4章 生物多様性の現状と要因の検討及び監視 P-15
10100	第1回 自然環境の現状	34160	第1節 生物多様性の構造と要因の特定及び監視
10200	第2回 生息地の多様性の現状	34240	第2節 生物多様性に対する影響と対応方針の現状と監視
10300	第3回 地域及び国内の多様性の現状		
10400	第4回 世界の生物多様性の現状	35010	第5章 生物多様性の現状と要因の検討 P-37
		35160	第1節 国際現状 P-37
		35240	第2節 調査研究の現状 P-37
20030	第2回 生物多様性の現状と持続可能な利用のための基本方針 P-2	35330	第3節 影響及び対応方針 P-38
20100	第1節 基本方針	35440	第4節 影響評価及び影響緩和の現状 P-41
20200	第2節 長期的な目標		
		36030	第6章 國際協力と政策 P-42
30020	第3回 生物多様性	36160	第1節 機構の実績 P-42
31020	第1章 生息地の現状 P-3	36240	第2節 國際上及び科学上の現状 P-42
31100	第1節 保護地帯の現状及び監視 P-3	36330	第3節 対応と監視方針 P-44
31200	第2節 生物多様性の現状及び監視 P-7	36440	第4節 全般環境問題との関係的実態 P-46
31300	第3節 野生動物の保護管理 P-8		
31400	第4節 保護地帯の現状及び監視方針 P-12	40030	第4章 國際取組の現状 P-48
31500	第5節 保育種における影響評価 P-12	40160	第1節 実施年表と各会議の進捗 P-48
31600	第6節 二点的合意議論の現状 P-13	40240	第2節 各種対策との連携 P-48
31700	第7節 都市開発における生物多様性の現状 P-15	40330	第3節 地域の復旧実績及び監視の見直し P-48
31800	第8節 連合国総会生物多様性宣言 P-17		
32010	第3章 生息地外現象 P-20		
32100	第1節 有機物からなる物に関する現象		
32200	第2節 脱着現象における生物種付録		
32300	第3節 連合国総会生物多様性の現象		
33030	第3章 生物多様性の構造要因の効率化利用 P-21		
33100	第1節 保育 P-21		
33200	第2節 研究 P-22		
33300	第3節 政策 P-26		
33400	第4節 対外戦略 P-30		
33500	第5節 バイオテクノロジーによる遺伝資源の利用 P-33		
33600	第6節 その他の利用 P-34		

1006	水資源における二大対外援助の現状	海洋環境整備事業の実績 〔森林水資源、水処理、運輸省、建設省〕	平成11年度主に日本海を用いた 輸出 〔日本：223→日本：283〕	日本海上での輸出が年々一つつの経済増加を示す。 然ながら海賊利用が現れ。	
		港と陸と緑のネットワーク事業の実績 〔森林水資源、水処理、運輸省、建設省〕	日本は東北までに地域活性化 〔日本：1平手で日本海側を活性化〕	日本は東北が活躍可能な領域に対する積極的な位置づけとして自然環境保護事業（セイターブ事業）と六連携を図り、地域事業における新技術開発がこれに開拓する新技術開拓の基礎的技術を行なう。港場から海賊被害での一時的な危機感が現れることを認めた。	
		港と陸の緑地造成が順次づく実施 〔厚生省、農林水資源省、水処理、運輸省、建設省〕	平成11年度までに地域活性化 〔日本：1平手で日本海側を活性化〕	良好な集客環境のもつ機能に対する想定に着目し、その結果より、子供から大人まで多くの市民がスカーフの文化として、健康で快適な生活を送れるよう土地整理づくりを実施する。	
		港の都市化事業の実績 〔森林水資源、水処理、運輸省、建設省〕	平成11年度までに海側を活性化 〔日本：1平手で日本海側を活性化〕	土砂防護施設による海岸地化活動による 海岸の活性化の実績	各事業者の意識による技術的な事業の実施

12	2箇所に配置した農業実験の現状	北埼玉に配置した農業実験場に着手する 時の背景〔農林水資源〕	農村地域生物多様性対応計画実施要綱 〔農林水資源〕	平成11年度に着手された農村地域生物多様性対応計画実施要綱〔農水・建设〕と農業 面開拓とのネットワーク実施。生物多様性 を維持するための手法を開拓するための課題 と土地区画整理事業。
		農林水資源農業対策の実績〔農林水資源〕 平成11年度より、農業生産向上に向けた各種 助成金・料金制度の改善を通じて農業生産 を促進する方針を設置した。 〔平成11年度予算：110,000千円〕	土壤改良にて、耕作地の活性化などを手 法として、農業生産向上の実績の 開拓を図る農業技術開発推進事業 を実施した。	農業技術開発を通じて農業生産向上の手 法を実証するための実験を行なった。今 日は、今後も一層農業生産向上の観点 からへの農業の活性化と効率的な支援技術 の実現につなげ、地域農業振興への 貢献を目指すことを計画している。

12	農業実験場の現状〔農林水資源〕 〔吉野村に100ヘクタール開拓実験〕 〔吉野村に100ヘクタール開拓実験〕 〔吉野村に100ヘクタール開拓実験〕 〔吉野村に100ヘクタール開拓実験〕	農村環境整備実験〔農林水資源〕 〔吉野村に100ヘクタール開拓実験〕 〔吉野村に100ヘクタール開拓実験〕	吉野村に配置した農業実験場の現状 〔農林水資源〕	森林整備により山林開拓の複合的な環境改 良計画のための、実際に施設した農業開 拓実験の実施のためのマスタープランと なる「吉野村農業開拓計画」を策定し、施設にかけ て開拓実験を行なうとともに、施 設に開拓する農業技術の創出により、通 じて農業生産向上を実現した上で、事 業を実施する必要がある。

11110	上野市公害等の整備	最も大変な公害等整備七箇項目に基づく 都立公害等の考え方整備の実績(現状)	一人あたり公害実績 日付: 2007.7.1 日付: 2007.7.1	東京都立公害等整備七箇項目における整 理(平成19年度) 一人あたり公害実績 約0.5cf において行なった公害の公害の整備率 約0.94 公害等における公害整備率による本府公害 の整備率と本府公害の割合 約0.94
11111	水林地の健全化	近隣林地整備区域【実行計】 都立公害等整備区域に面する近隣林地整 備区域(約15.0ha)及び近隣林地整備区域 の範囲に関する整備に基づく近隣林地整 備区域(約0.1ha)について、一般川原 航行鳥類の飛来による整備実施事例等への整 備を実施(付1)。	午後とも点検多様性への努力を認めたよ うし。本年度の結果を満足をはかっていこう としている。	
		建設分野の環境取組実績の実績【現状】 生態系の健全・生態回路の創造活動の開拓 (環境保全と整備)	初期の開拓を継続実施した。 計: 130百万円	初期の開拓を継続実施。
		森林保育及び整備費に着手する近隣林地整 備区域、及び林地整備区域の開拓と整備す るとともに、林地の整備や健全化のための近 隣の土地の買入などを通過【現状】 (平成19年度吉野町が林地整備事業費を約 1,200万円)	森林保育の継続実績 日付: 2007.7.1付、2007.7.1	
		自然林地の整備【実行計】 都市計画地内から一定面積以上の土地の開 発者に付し地元基づき、都市公園整備などに 森林整備費用と費用を融資し、当該目的にあ げた当該土地を定期的に明渡す(林地・木 立地盤)として一定期間設置・管理し、有 効活用の目的とするもの(いのちの場や生息の生 息加勢となる考え方や林木保護)	自然林地の継続実績 日付: 2007.7.1付	
		豊かな木造ドリーム【現状】	日付: 2007.7.1付	
		河川環境健全モニター【現状】	日付: 2007.7.1付	
11112	上野市における森林の整備			
11113	上野市における森林の整備	グリーンプラン200の進捗【現状】 整備区域が広がってきた新規開拓地の実績 が整備される半山腰地帯等を対象に、西暦 2000年日本に最も身近なが増加 したと実感できる本府公害等の整備を目標し	緑の杜愛犬園地公園 自然観察園を目標に、園民が色々な実感 できる経験から本府公害等の整備を目標し、 林の健全・樹木・植物に着心地の整備を 日々目標を掲げ、森林整備を実した園の	

## 「埼玉県環境基本計画」の個票の様式(一部)

表題: 1-1 (地域評議)

環境配慮推進状況評議表 (事務別)

年月日 年月日

季節の概要	夏季	冬季
季節の現象	高温現象	
計画実績	計画	

季節の現象:

上記の季節について、埼玉県環境配慮方針(埼玉県環境基本計画実行計画)に沿って環境配慮に努めました。

この季節に関して、着目及び実施した環境配慮の内容は別表一と別表二のとおりです。その環境配慮の推進状況に対する評議の結果は、次のとおりです。

総合評議	
------	--

回答内容

下記別表一、二の欄から社会的評議所へ、別表一内の内容を記入する。

A.A : 別表一の記載の内容は十分満足できる程度であった。

B.B : 別表一の記載の内容は自己満足である程度であった。

C.C : 別表一の記載の内容は社会的評議所で求められた。

表題: 1-2 (地域評議)

季節別評議表	水辺豊かで 生きる環境のある環境の実現	総括評議
● ● ● ● ●	● ● ● ● ●	● ● ● ● ●

基本的配慮事項:

地域の健全な生態系の維持に配慮する。

① 合成生物学「DNAアーティスト」による多細胞生物の  
生長・生息状況を把握する。  
② ピオニアープロジェクトにより野生生物の生息・生存面  
面の監視に着手。

③ 生物多様性調査の実施、ヨードキル荷物を実施する。

④ 野生生物の移動等による野生生物生息地の移動を移動する。

⑤ 水系・陸系・生物の連携等に努める。

⑥ 工事実施時の被災予防を実施する。

⑦ 地域密着の工夫を実施する。

基本的配慮事項:

良好な農耕地の施肥栽培地、沿岸の森林整備地、歴史的建築  
物の保全を図る。

⑧ 農業地帯の施肥栽培地、カーデザインの技術を実施する。

⑨ 農地の保全・整備の実施・ラテンダイニングに「SA-T」実施  
する。

⑩ 農業地帯の施肥栽培地を実施する。

⑪ 自然環境の維持に適応した施設整備の実施を図る。

⑫ 地域活性化のための「トータル農業」、林業資源、林道を実施す  
る。

⑬ 防風、防砂、防護、整備、遮蔽物の整備を実施する。

⑭ 土地利用促進策については各自に協力するとともに、施  
設会社負担額においては施設の運営等を行ふ。

基本的配慮事項:

周辺地帯の整備し、周辺の地帯となる林地をつなぐ整備に  
着手する。

⑮ 周辺地帯の整備・整備・整備の実施。

⑯ 周辺地帯の整備・整備の実施。

⑰ 周辺地帯の整備・整備の実施。

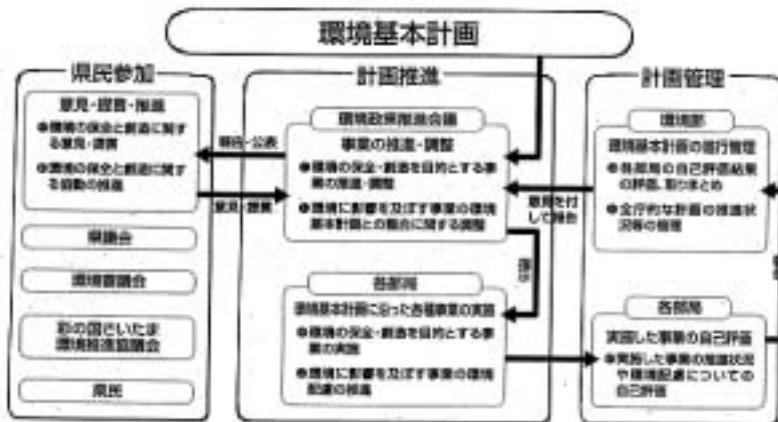
⑱ 周辺地帯の整備・整備の実施。

⑲ 周辺地帯の整備・整備の実施。

⑳ 周辺地帯の整備・整備の実施。

㉑ 周辺地帯の整備・整備の実施。

## 「埼玉県環境基本計画」の点検システム



## 「埼玉県環境基本計画」の点検結果（平成11年度）

例) 平成11年度・令和要言自己理解要旨一覧

序号	单 位 名 称	教育阶段	基础学制(年)	普通高中	中等职业	中专	技工学校
----	---------	------	---------	------	------	----	------

## 1. 背景地の断面

— — — —

2 通用の整理

1-一般道路12号	土木工程	路政罚款	34	8	84.26	A
2-一般道路20号	土木工程	施工罚款	32	8	84.26	A
3-一般道路40号	土木工程	施工罚款	35	8	84.26	A
4-一般道路60号	土木工程	路政罚款	44	9	94.26	A
5-施工上之妨碍事項 - 一般道路40号	土木工程	施工罚款	3	3	88.00	AA
6-施工上之妨碍事項 - 一般道路40号	土木工程	施工罚款	1	1	88.00	AA
7-施工上之妨碍事項 - 小路排水沟渠	土木工程	施工罚款	3	3	88.00	AA
8-施工上之妨碍事項 - 檢討工程問題	土木工程	施工罚款	4	4	88.00	AA
9-施工上之妨碍事項 - 施工引起問題	土木工程	施工罚款	6	4	88.00	AA
10-施工上之妨碍事項 - 施工引起問題	土木工程	施工罚款	2	2	88.00	AA
11-施設小路之妨碍	土木工程	施工罚款	16	32	88.75	AA
12-交通安全(頭盔問題) 施工工具 - 一般道路12号	土木工程	施工罚款	4	3	71.50	AA
13-空氣與噪音	土木工程	施工罚款	21	8	88.00	AA
14-衛生問題	土木工程	路政罚款	20	21	88.00	AA
15-施設瓦斯戶之妨碍	土木工程	施工罚款	14	15	88.00	AA
16-道路改善工程 - 一般道路12號 - 路口改善問題	土木工程	施工罚款	3	3	88.00	AA
17-道路改善工程 - 一般道路12號 - 路口改善問題	土木工程	施工罚款	4	3	88.00	AA
18-道路改善工程 - 施工引起問題	土木工程	施工罚款	3	3	88.00	AA
19-道路改善工程 - 路口改善問題	土木工程	施工罚款	4	4	88.00	AA
20-破壞樹木 - 一般道路12號	土木工程	施工罚款	6	6	88.00	AA
21-破壞樹木 - 一般道路12號	土木工程	施工罚款	6	6	88.00	AA
22-破壞樹木 - 一般道路12號	土木工程	施工罚款	6	6	88.00	AA
23-破壞樹木 - 一般道路12號	土木工程	施工罚款	6	6	88.00	AA
24-雨季水土保持 - 施工問題	土木工程	施工罚款	32	32	100.00	AA
25-各項工程(1-2-3-4-5-6-7-8-9-10-11-12-13-14-15-16-17-18-19-20-21-22-23-24)	土木工程	施工罚款	7	8	88.75	AA
26-要件之問題 - 施工工程問題 - 施工問題	土木工程	路政罚款	13	9	81.88	A
27-六點鐘問題 - 不滿八點鐘工程 - 施工問題	土木工程	路政罚款	12	18	88.33	AA
28-六點鐘問題 - 八十點鐘工程 - 施工問題	土木工程	施工罚款	8	8	88.00	AA
合計			227	186	88.75	-

### 3. 実用・学芸の影響

新村	新村里	土木部	新村里附屬	29	29	36.0%	Aa
東村	弓削里(新村里)	土木部	施工作業	16	16	21.8%	Aa
立原	立原里	土木部	施工作業	20	21	25.0%	Aa
北原	佐久間原里(新村里)	土木部	施工作業	29	29	36.0%	Aa
中村	弓削里(新村里)	土木部	設置作業	28	30	34.4%	Aa
高畠	高畠里(新村里)	土木部	施工作業	23	27	33.3%	Aa

## 「環境基本計画」の点検方法

## 田環境基本計画（平成6年12月16日閣議決定）

## 第5節 計画の進捗状況の点検及び計画の見直し

環境基本計画の審査実行を確保するため、毎年、中央環境審議会は、国民各界名層の意見も聽きつつ、環境基本計画に基づく政策の進捗状況等を点検し、必要に応じ、その後の政策の方向につき政府に報告する。

内外の経済社会の変化に柔軟かつ適切に対応して、環境基本計画の見直しを行うこととし、見直しの時期は、5年後程度を目途とする。



新環境基本計画（平成12年12月22日閣議決定）

## 第5節 計画の進捗状況の点検及び 計画の見直し

環境基本計画の着実な実行を確保するため、毎年、中央環境審議会は、国民各界各層の意見も聽きながら、環境基本計画に基づく施策の進捗状況などを点検し、必要に応じ、その後の政策の方向性につき政府に報告します。中央環境審議会の点検結果は、開拓府省の自主的な点検結果を踏まえて実施します。開拓府省の点検が、地圖の環境改善効果に関する分析、評価を可能な限り含めて実施できるよう、政府は、適切な点検手法の開発を図ります。中央環境審議会の点検結果については、毎年国

会に對して行うものとされている年次報告などに反映するとともに、環境保全経営の見解もり方針の調整に反映します。

内外の社会経済の変化に柔軟かつ適切に対応して、現地基本計画の見直しを行うこととし、見直しの時期は、5年後程度を目途とします。

## 国土に関する諸計画の体系



## 「国土利用計画（全国計画）第三次」（平成8年2月閣議決定）一部抜粋

### 1. 国土の利用に関する基本構想

#### (1) 土地利用の基本方針

イ (イ) 地球環境問題の顕在化により、我が国の国土が地球規模の環境と密接に関係し、現在の影響が将来世代に及ぶ可能性が認識されるようになり、国土の利用に当たっては、長期的な視点に立って自然のシステムにかなった持続可能な利用を基本とすることが求められている。

ウ (ア) 森林、原野、農用地、宅地等の相互の土地利用の転換については、土地利用の可逆性が容易に得られないこと、生態系をはじめとする自然の様々な循環系に影響を与えること等にかんがみ、慎重な配慮の下で計画的に行なうことが重要である。

（イ）自然と共生する持続可能な国土利用の観点からは、自然の健全な物質循環の維持、都市的土地利用に当たっての自然環境への配慮、生物の多様性が確保された自然の保全・創出とそのネットワーク化等を図ることにより、自然のシステムにかなった国土利用を進めていく必要がある。

#### (2) 地域類型別の国土利用の基本方向

##### ウ 自然維持地域

高い価値を有する原生的な自然の地域や野生生物の重要な生息・生育地、すぐれた自然の風景地など、自然環境の保全を旨として維持すべき自然については、適正に保全する。あわせて、適正な管理の下で、自然の特性を踏まえつつ自然体験・学習等の自然とのふれあいの場としての利用を図る。

##### (3) 利用区分別の国土利用の基本方向

イ 森林については、…原生的な森林や貴重な動植物が生息・生育する森林等自然環境の保全を図るべき森林については、その適正な維持・管理を図る。

ウ 原野のうち、湿原、水辺植生、野生生物の生息・生育地等貴重な自然環境を形成しているものについては、生態系及び景観の維持等の観点から保全を図る。その他の原野については、地域の自然環境を形成する機能に十分配慮しつつ、適正な利用を図る。

エ 水面、河川及び水路の整備に当たっては、自然環境の保全に配慮するとともに、自然の水質浄化作用、生物の多様な生息・生育環境、うるおいのある水辺環境、都市における貴重なオープンスペース等多様な機能の維持・向上を図る。

シ 沿岸域の多様な生態系の保全を図るとともに、…。

### 2. 国土の利用目的に応じた区分ごとの規模の目標及びその地域別の概要

#### 3. 2. に掲げる事項を達成するために必要な措置の概要

##### (5) 環境の保全と美しい国土の形成

イ 農用地や森林の適切な維持管理、水辺地等の保全による河川、湖沼及び沿岸域の自然浄化能力の維持・回復、地下水の適正な利用等を通じ、水環境への負荷を低減し、健全な水環境の確保を図る。特に、湖沼等の流域において、水質保全に資するよう、緑地の保全その他自然環境の保全のための土地利用制度の適切な運用に努める。また土壤汚染の防止と汚染土壤の回復に努める。

エ 高い価値を有する原生的な自然については、公有地化や厳格な行為規制等により厳正な保全を図る。野生生物の生息・生育、自然風景、稀少性等の観点からみてすぐれている自然については、行為規制等により適正な保全を図る。二次的な自然については、適切な森林漁業活動や民間等による保全活動の促進、必要な施設の整備等を通じて自然環境の維持・形成を図る。自然が減少した地域については、自然の創出と量的確保を図る。この場合、生物の多様性を確保する観点から、生態系のネットワーク化に配慮する。また、それぞれの自然の特性に応じて自然とのふれあいの場を確保する。

# 国土審議会基本政策部会

## 中間報告素案

### 「国土の将来展望と新たな国土計画制度のあり方」

平成13年10月29日

## 国土審議会基本政策部会

第Ⅰ部 国土の将来展望と国土計画の新たな課題 ..... 2

第Ⅱ部 国土計画体系の改革 ..... 17

1. 國土計画の改革のねらい ..... 17

(1) 國土計画の新たな役割：良好な國土の継承への総合的國土管理指針 ..... 17

(2) 地方分権の推進 ..... 17

(3) 指針性の充実 ..... 18

国土計画の関係主体への指針性を向上するために、国土計画を目標管理型の制度とし、国土計画のマネジメントサイクル<sup>25</sup>の確立に向けて、計画の策定、推進、評価の各段階での改善を進める。

2. 國土計画のマネジメントサイクル ..... 19

(1) 計画内容 ..... 19

(2) 計画策定手続 ..... 21

(3) 計画評価 ..... 21

(4) 國土のモニタリング、情報の収集・分析と共有・公開 ..... 22

(5) 分野別長期計画や各主体による施策実施等への反映 ..... 23

3. 広域計画のあり方 ..... 23

(1) 広域ブロック計画の課題 ..... 23

(2) マネジメントサイクルの導入 ..... 25

(3) 策定主体 ..... 25

(4) 計画圏域 ..... 26

(5) 課題に応じた自発的な連携による広域計画 ..... 26

② 広域計画の総合性・具体性を向上するための図面の作成、公表

国土づくりの具体化を担う広域ブロック計画は、計画の総合性・具体性を高めていくことが必要である。また、計画策定への多様な主体の参加を制度化することを視野に入ると、地域住民等に対して計画内容を分かりやすく提示していくことが必要となる。こうした計画の総合性や具体性を確保する観点から、地域づくりの意図や戦略を示す図面を作成し、公表する。

なお、図面化に際しては、例えば首都圏における国際交流機能の向上など、重要テーマに沿って戦略的な施策・事業を一体性をもって示す。

4. 土地利用に関する計画制度 ..... 27

(1) 基本認識 ..... 27

(2) 新たな國土計画（全國計画）における土地利用の指針 ..... 28

#### ① 現行制度およびその課題

國土利用計画（全國計画）は、國土利用のあるべき姿を、主として土地利用方に着目しつつ、(i) 総合的かつ長期的な國土利用に関する構想、(ii) の利用目的に応じた区分ごとの規模の目標、及び(iii) これを達成するための措置の概要を示すことにより、國の行政部局や地方公共団体等に対する指針での役割を担ってきた<sup>26</sup>。

國土利用計画（全國計画）は、國の行政部局や地方公共団体への指針という性格が強い反面、國民への分かりやすさが十分ではないと認知度が低いとの指摘もある。

#### ② 検討の方向

##### イ) ビジョンの図による提示

現行の國土利用計画（全國計画）では、(i) 安全で安心できる國土利用、自然と共生する持続可能な國土利用、(iii) 美しくゆとりある國土利用、と基本とすべき観点を提示するとともに、地域類型別（都市、農山漁村、自然地域）及び利用区分別（農用地、森林等）に、それぞれ基本方向を提示している。

こうした基本方針を國民にわかりやすく示す観点から、從來の文章によると加えて、例えば、保全すべき自然など、そのあり様を概略的な図で示す。

(3) 地方公共団体の土地利用に関する計画 ..... 29

#### 1) 都道府県の土地利用に関する計画

#### ② 検討の方向

都道府県の土地利用に関する計画の即地性を充実するため、國土利用計画事項を拡充して土地利用に関する詳細かつ具体的な基本構想を示すとともに、土地利用基本計画との連携を強化することにより、両者がより密接に連されるような制度のあり方を検討する。

また、土地利用基本計画は、個別規制法に基づく諸計画の総合調整を担う能として重要であり、都道府県の計画として引き続き活用するとともに、I の推進状況等を踏まえ、土地利用基本計画の電子化等を推進し、行政各部署局の的確な活用に資するのみならず、土地の利用者に対してもアクセスしやすい開かれたものとするよう検討する。

#### 2) 市町村の土地利用に関する計画

#### ② 検討の方向

市町村の土地利用に関する計画の即地性を充実するため、國土利用計画の事項を拡充して土地利用に関する詳細かつ具体的な基本構想を示すとともに、その際には地区単位等に分割してよりきめ細やかに示すよう検討を進める。た、「土地利用のあるべき姿」がより明確になるよう、図面により示すこと含めて検討する。